



スポンサー企業: Cisco

著者:  
Matthew Marden  
Jed Scaramella  
Carl W. Olofson

2014年9月

## ビジネスバリュー概要

サーバー管理のために必要な  
スタッフの時間の削減

68.4%

サーバー配備のために必要な  
スタッフの時間の削減

83.8%

ハードウェアのダウンタイムや  
劣化による従業員の生産的な  
時間損失の削減

96.3%

5年間のビジネス上の利益合計

\$4.79M

5年間のROI:

368%

投資回収期間:

10 months

# SAP HANAおよび他のSAPのミッション クリティカルアプリケーションのプラット フォームとしてのCisco UCSのビジネス価値

## EXECUTIVE SUMMARY

IDCは、ビジネスの意思決定におけるデータアナリティクスの利用が、多くの企業において最優先事項になりつつあるということを確認している。これによって、IT部門に対する新たな要求が生じている。この要求には2つの面がある。1つは、ソーシャルメディアなどのソースからの非構造化データの新たなストリームの管理であり、もう1つはリアルタイムのアナリティクスを提供するための応答時間の短縮である。

アナリティクスとビジネスアプリケーションシステムが従来よりも高度となり、そのプラットフォームの運用要件が複雑化する中で、企業のIT部門はこれらのアプリケーション向けにデータセンターインフラストラクチャを管理する上での複雑性、リスク、コストを軽減するための統合システムに目を向けている。シスコは、5年以上前にCisco Unified Computing System (UCS) を投入して以来、統合システムでの市場リーダーである。

SAPではデータアナリティクスに対するニーズに応じてSAP HANAを開発している。SAP HANAは総合的なインメモリーデータベースシステムであり、選ばれたシステム/パートナーがSAPの仕様に従って構築したプラットフォーム上で提供される。

SAPアプリケーションは、多くの企業において事業運営の基盤となっている。したがって、SAPアプリケーションを実行している企業では、パフォーマンスを最大化し、SAPアプリケーションとSAP HANAの運用を容易にするコンピューティングおよびネットワークインフラストラクチャを整備する必要がある。IT部門に対する相互に競争する要求や、IT運用のコスト効率を可能な限り高めつつ、ビジネスの俊敏性を向上させるということを考慮すると、これを達成することは困難な課題となる可能性がある。

これらの目標を達成するために、多くの企業ではCisco UCSによってSAP HANAとその他のミッションクリティカルなSAPアプリケーションをサポートしている。Cisco UCSでは、SAP HANAの実行のためにカスタマイズされたアーキテクチャの提供などのSAPに特化した利点だけでなく、UCSの統合的な性質、強力なスケーラビリティ、集中一元化されたシステム運用管理に基づいた利点も提供している。

Cisco UCS上でSAP HANAとSAP ERPアプリケーションを実行する企業は、これらの利点を活用することによってITおよびビジネスの両面において重要な利点を実現することが可能である。IDCでは、本ホワイトペーパーのためにインタビューを行った企業は、その利点により5年間で平均して1企業当たり年間479万ドルの利益を実現していると算定している。これによって、投資利益率 (ROI) は5年間で368%、Cisco UCSへの投資の回収期間は10か月となっている。